

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成23年12月22日 (2011.12.22)

【公開番号】特開2008-261855(P2008-261855A)

【公開日】平成20年10月30日 (2008.10.30)

【年通号数】公開・登録公報2008-043

【出願番号】特願2008-99751(P2008-99751)

【国際特許分類】

G 0 1 N 21/47 (2006.01)

G 0 1 N 21/17 (2006.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

G 0 1 B 11/06 (2006.01)

G 0 1 N 21/952 (2006.01)

G 0 1 N 21/84 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 21/47 B

G 0 1 N 21/17 A

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Z

G 0 1 B 11/06 1 0 1 H

G 0 1 N 21/952

G 0 1 N 21/84 Z

【手続補正書】

【提出日】平成23年11月7日 (2011.11.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

滑らかな回転画像部材上の剥離剤を検出し、測定するシステムであって、  
生成したコリメート光ビームを回転画像部材に方向づけるように配されたコリメート光源と、

前記回転画像部材によって反射された前記コリメート光ビームの一部から前記回転画像部材の一部の画像を生成する画像センサと、

前記画像センサによって生成された第 1 の画像と前記画像センサによって生成された第 2 の画像との差分を測定する画像差分器と、

前記画像差分器に結合されており、前記 2 つの画像の前記差分を受け取って前記回転画像部材上の前記剥離剤の測定値を生成する剥離剤測定値発生器と、  
を含む前記システム。

【請求項 2】

前記コリメート光源がレーザである、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 3】

前記コリメート光源がヘリウム - ネオンレーザである、請求項 2 に記載のシステム。

【請求項 4】

前記コリメート光源がガリウムヒ素レーザである、請求項 2 に記載のシステム。

【請求項 5】

前記コリメート光源が赤外線エミッタであり、

前記画像センサが鏡面反射を受け取るよう構成された赤外線受容器である請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 6】

前記画像センサが 2 次元アレイのフォトサイトである請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 7】

前記画像差分器が、更に、

第 1 の時間の 2 次元アレイのフォトサイト各々のデータ値を記憶する第 1 のメモリと、  
第 2 の時間の 2 次元アレイのフォトサイト各々のデータ値を記憶する第 2 のメモリと、  
前記第 1 のメモリ及び前記第 2 のメモリの対応するデータ値の差分を算出する差分器と

、

前記第 1 のメモリのデータ値と前記第 2 のメモリのデータ値の前記差分を記憶する第 3 のメモリと、

を含む請求項 5 に記載のシステム。

【請求項 8】

前記剥離剤測定値発生器が、更に、

前記コリメート光ビームを反射する前記回転画像上の領域の中心領域に対応する前記第 3 のメモリの一部に記憶された差分を加算して強度合計を生成する加算器と、

前記加算器により生成された第 1 の和と以前に前記加算器により生成された第 2 の和の差分を測定するよう構成された強度差分器と、

前記差分が増分閾値よりも大きい場合に前記差分に応じて剥離剤の測定値に増分を加算する測定値変更器と、

を含む請求項 7 に記載のシステム。

【請求項 9】

前記コリメート光源が赤外線レーザエミッタである

請求項 5 に記載のシステム。

【請求項 10】

滑らかな回転画像部材上の剥離剤を検出し、測定する方法であって、

コリメート光ビームを回転画像部材に方向づけることと、

前記回転画像部材によって反射された前記コリメート光ビームの一部から前記回転画像部材の一部の画像を画像センサを用いて生成することと、

前記画像センサによって生成された第 1 の画像と前記画像センサによって生成された第 2 の画像との差分を測定することと、

前記第 1 の画像及び前記第 2 の画像の測定差分に対応する前記回転画像部材上の前記剥離剤の測定値を生成することと、

を含む前記方法。